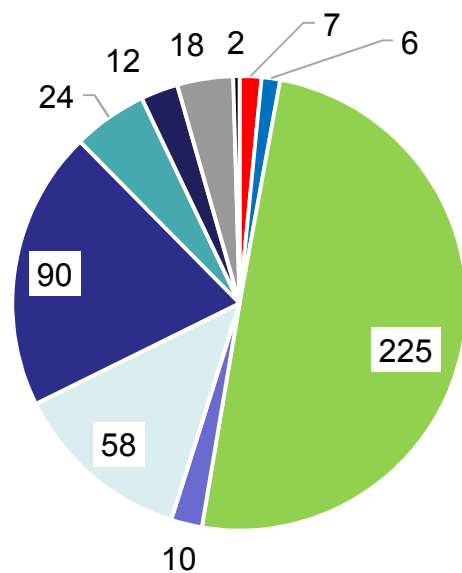


アンケート調査結果一覧 (届出荷送人)

海事局検査測度課
危険物輸送対策室
平成30年4月

- アンケート回答件数 451者
- 本社・本部の所在地(都道府県)について、お答えください。



企業属性

■ 企業の資本金の規模について、以下より選択してください。

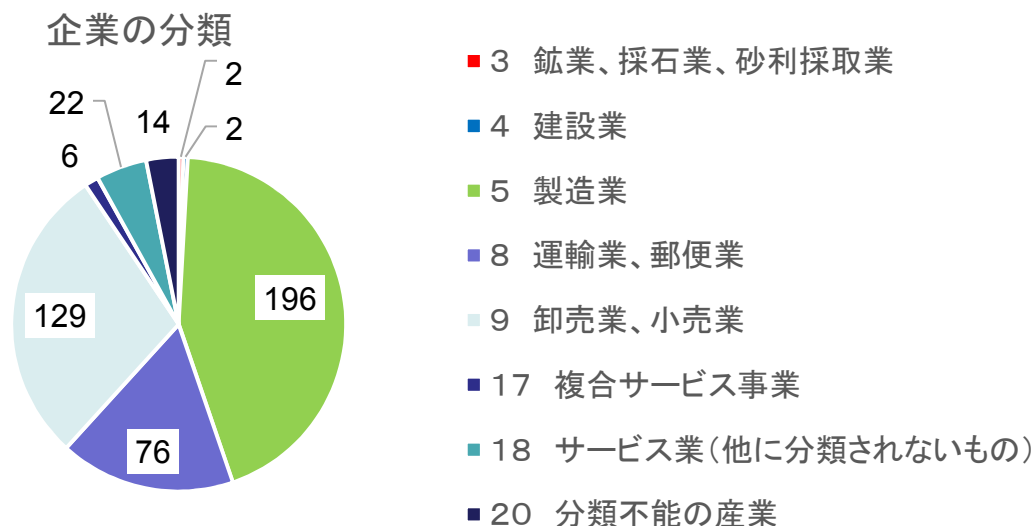
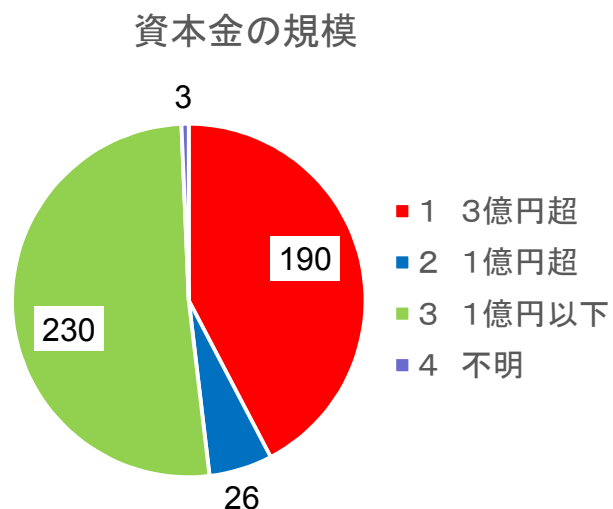
<選択肢>

- 1 3億円超 2 1億円超 3 1億円以下 4 不明

■ 該当する日本標準産業分類の大分類について、以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 農業、林業 2 漁業 3 鉱業、採石業、砂利採取業 4 建設業 5 製造業
 6 電機・ガス・熱供給・水道業 7 情報通信業 8 運輸業、郵便業 9 卸売業、小売業
 10 金融業、保険業 11 不動産業、物品賃貸業 12 学術研究、専門・技術サービス業
 13 宿泊業、飲食サービス業 14 生活関連サービス業、娯楽業 15 教育、学習支援業
 16 医療、福祉 17 複合サービス事業 18 サービス業(他に分類されないもの)
 19 公務(他に分類されるものを除く) 20 分類不能の産業

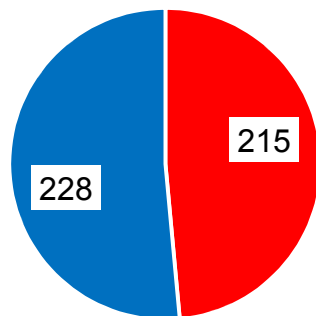


- ISO9001の取得状況について、選択してください。
- AEO輸出者承認の取得状況について、選択してください。
- 貴社(所)における「方法1/2」の区分について、以下より選択してください。

<選択肢>

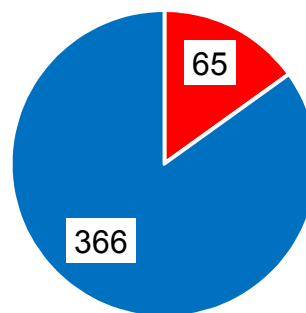
- 1 方法1のみ 2 方法2のみ 3 方法1・2の両方

ISO9001



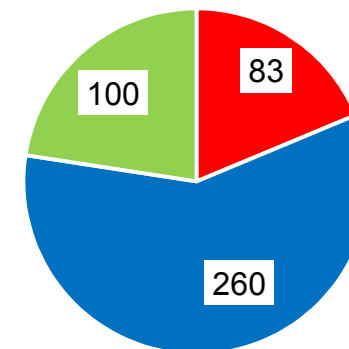
■ 1 取得している ■ 2 取得していない

AEO輸出者承認



■ 1 取得している ■ 2 取得していない

方法1/2の区分



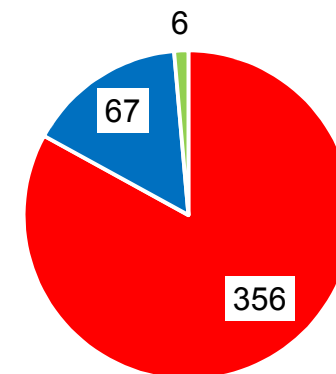
■ 1 方法1のみ ■ 2 方法2のみ
■ 3 方法1・2の両方

問1 <取組状況・全般>

問1 貴社(所)の重量確定業務を行う部署内において、業務実施手順書又は規程を事務所等に備付けられていることを部署内で周知をされていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 各事業所の部署内において周知している
- 2 作成したのみであり、本業務手順書・規程の周知等はとくにしていない
- 3 不明

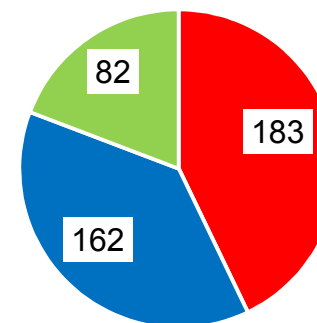


- 1 周知している
- 2 周知していない
- 3 不明

問1-1 貴社(所)の重量確定業務を担う部署以外の周知状況について、以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 代表者・役員や他部署の間において、重量確定業務の手順書又は規程を周知している
- 2 代表者・役員の間においては、重量確定業務の手順書又は規程を周知しているが、他部署はとくに周知していない
- 3 不明



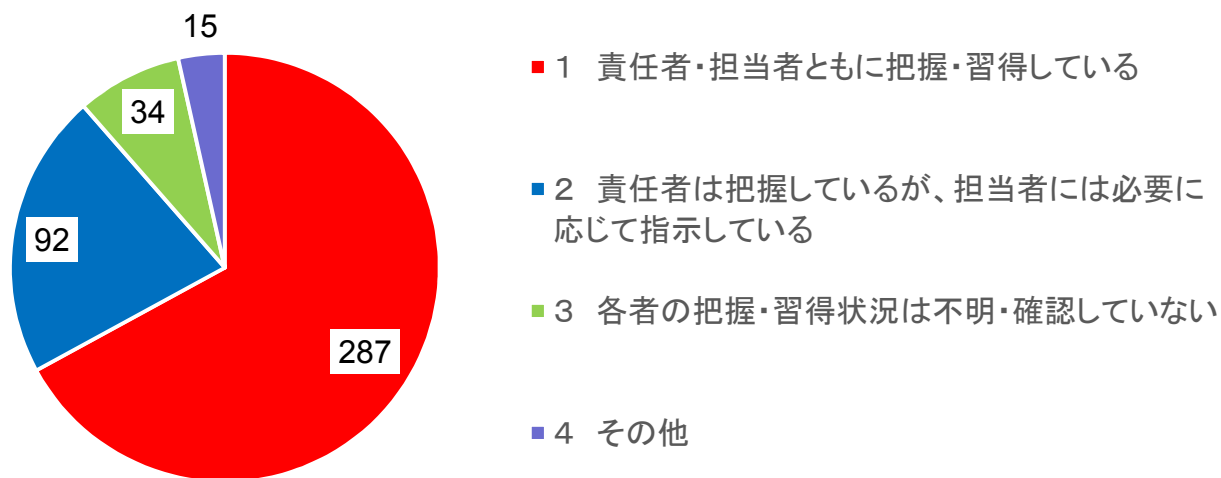
- 1 代表者・役員や他部署の間において周知している
- 2 他部署は周知していない
- 3 不明

問1 <取組状況・全般>

問1-2 業務実施手順書又は規程に係る重量確定業務の責任者・担当者の把握・習得状況について、以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 責任者は業務実施手順書又は規程の記載内容の詳細を把握し、業務に従事する担当職員も記載内容を習得している
- 2 責任者は業務実施手順書又は規程の記載内容の詳細を把握しているが、業務に従事する担当職員には必要に応じ指示等を行っており各者の習得状況は不明・確認していない
- 3 業務実施手順書を作成したのみであり、とくに各者の把握・習得状況は不明・確認していない
- 4 その他(具体的にご記入ください)

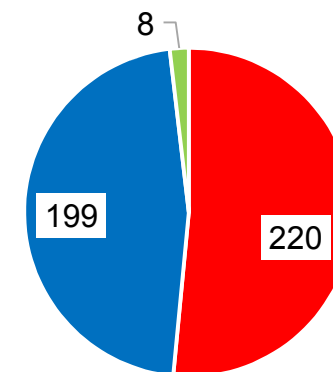


問2 <取組状況・全般>

問2 重量確定業務に関する研修・教育等を実施されていますか。
以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 実施している
- 2 実施していない
- 3 不明



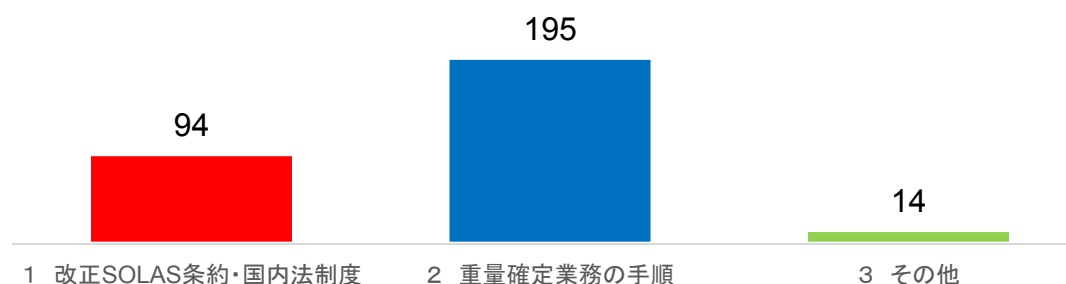
- 1 実施している ■ 2 実施していない
■ 3 不明

(問2において「1 実施している」を選択した場合)

問2-1 どのような研修内容をされていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 改正SOLAS条約・国内法制度
- 2 重量確定業務の手順
- 3 その他(具体的にご記入ください)



- 1 改正SOLAS条約・国内法制度 ■ 2 重量確定業務の手順 ■ 3 その他

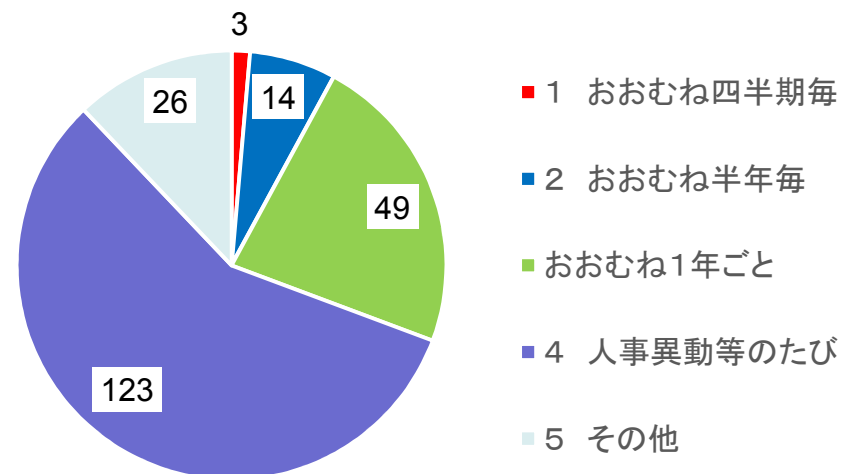
問2 <取組状況・全般>

(問2において「1 実施している」を選択した場合)

問2-2 どのような期間(頻度)で実施していますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 おおむね四半期ごと
- 2 おおむね半年ごと
- 3 おおむね1年ごと
- 4 人事異動等のたびに実施(不定期)
- 5 その他(具体的にご記入ください。)

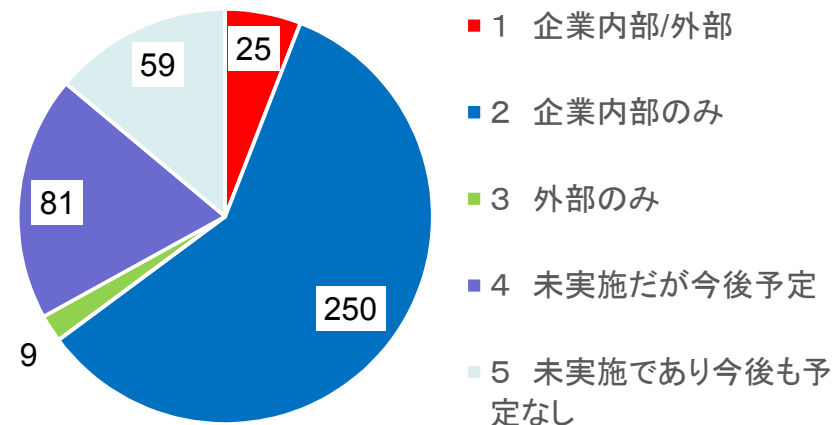


問3 <取組状況・全般>

問3 重量確定業務に関する企業内部チェック/外部監査等の実施状況はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 企業内部／外部の両方を行っている
- 2 企業内部の自己チェックのみ
- 3 外部による監査受検のみ
- 4 現状未実施であるが今後予定している
- 5 未実施であり今後も予定していない

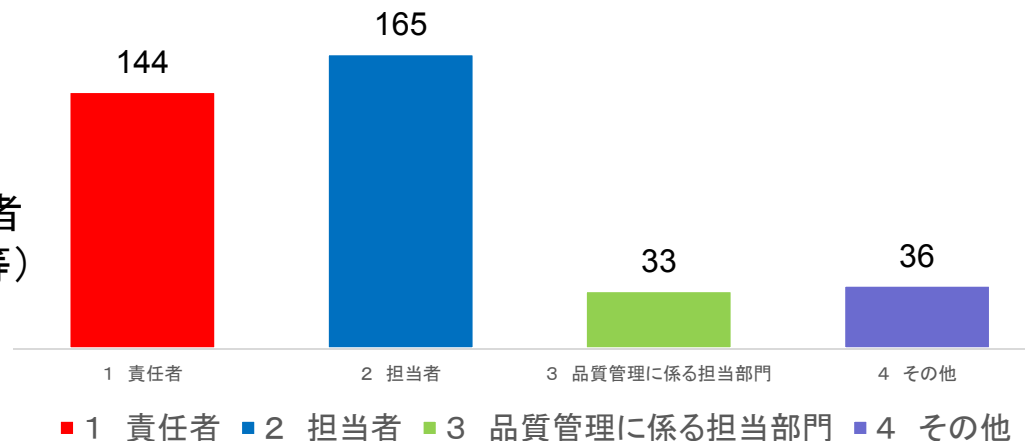


(問3において「1 企業内部／外部の両方を行っている」、「2 企業内部の自己チェックのみ」を選択した場合)

問3-1 企業内部では、どのような部署の方等がチェックされていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 コンテナ総重量の確定業務の責任者
- 2 コンテナ総重量の確定業務を行う担当者
- 3 品質管理に係る担当部門(総務・経理等)
- 4 その他(具体的にご記入ください)



問3 <取組状況・全般>

(問3において「1 企業内部／外部の両方を行っている」、「3 外部による監査受検のみ」を選択した場合)

問3-2 外部監査・チェック等の監査機関等の名称をご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

- ・日本海事検定協会
- ・各バンニング工場
- ・物流会社、物流子会社
- ・ビューローベリタスジャパン株式会社
- ・鎌長製衡等のメーカー
- ・各市町村の計量協会
- ・JQA
- ・有限責任監査法人

問4、5 <方法1による確定業務>

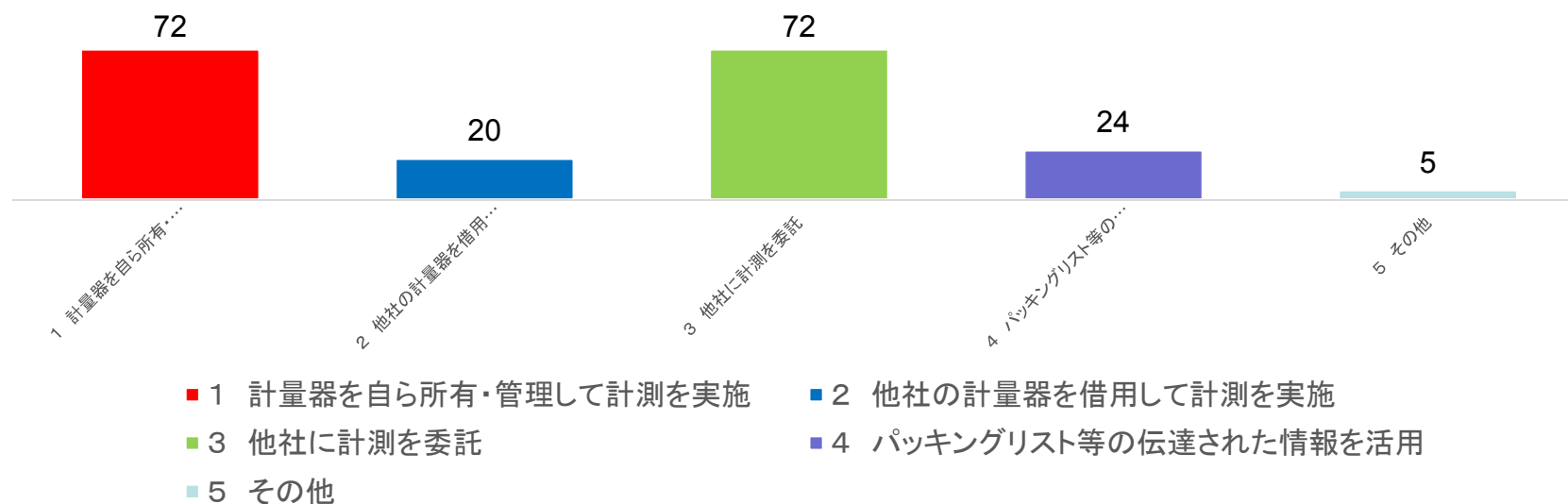
問4 貴社(所)において、平成28年7月1日～平成29年6月30日の期間に「方法1」により重量確定した輸出コンテナの本数及びTEU換算値をご記入ください。

※本数、TEUについては未記入や概数で回答された企業が多いため、正確性に欠くことから未公表とさせていただきます。

問5 どのようにしてコンテナ総重量の計測・算出を実施されていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 計量器を自ら所有・管理して計測を実施
- 2 他社の計量器を借用して計測を実施
- 3 他社に計測を委託
- 4 計測の委託をせず、パッキングリスト等の伝達された情報を活用
- 5 その他・不明(具体的にご記入ください)



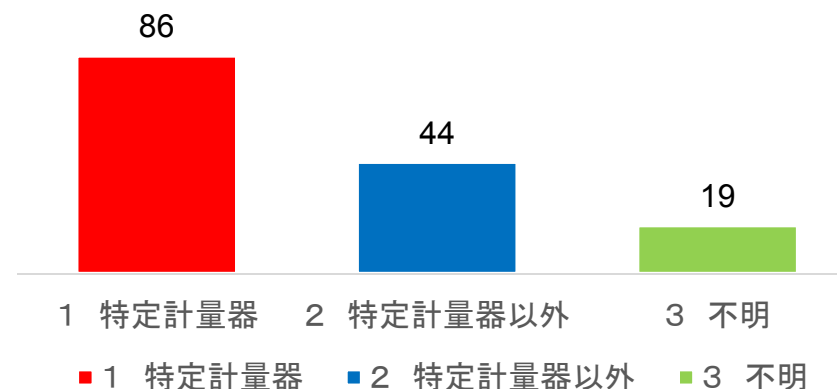
問5 <方法1による確定業務>

(問5において「1 計量器を自ら所有・管理して計測を実施」、「2 他社の計量器を借用して計測を実施」、「3 他社に計測を委託」を選択した場合)

問5-1 計量器はどのような種類を主に使用されていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 計量法の特定計量器(非自動はかり)
- 2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器
- 3 不明

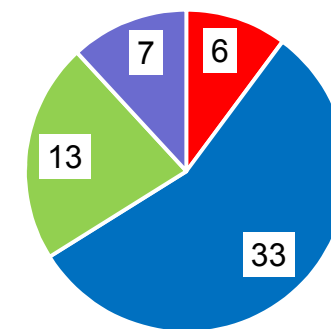


(問5-1において「2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器」、「3 不明」を選択した場合)

問5-1-1 どなたが計量器の調整・点検を実施されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 内部の担当者
- 2 外部の専門業者
- 3 両方
- 4 その他(具体的にご記入ください)



■ 1 内部の担当者 ■ 2 外部の専門業者 11
 ■ 3 両方 ■ 4 その他

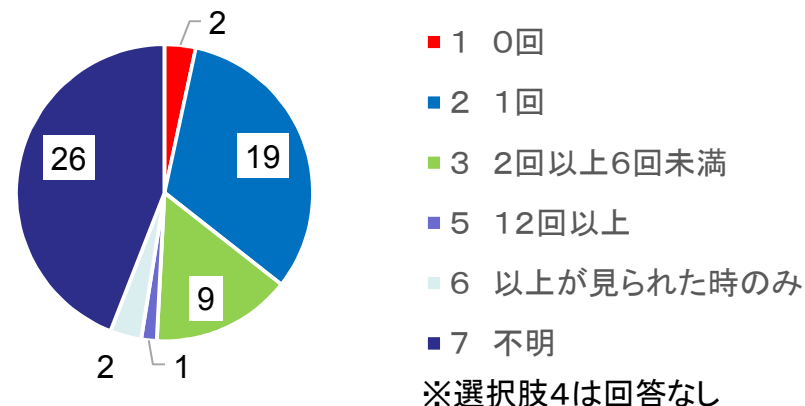
問5 <方法1による確定業務>

(問5-1において「2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器」、「3 不明」を選択した場合)

問5-1-2 年間あたりの調整・点検の頻度はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 0回 2 1回 3 2回以上～6回未満
 4 6回以上～12回未満 5 12回以上
 6 故障等異常が見られる時のみ実施 7 不明

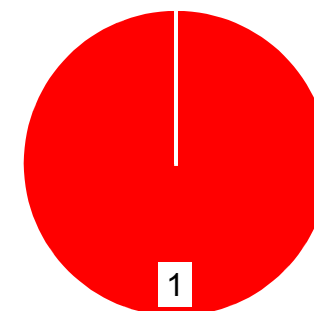


(問5-1-2において「5 12回以上」を選択した場合)

問5-1-2-1 月あたりの調整・点検の頻度はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 0回 2 1回 3 2回以上～6回未満(※1週間に1回程度)
 4 6回以上 5 故障等異常が見られる時のみ実施 6 不明



■ 4 6回以上

※選択肢1, 2, 3, 5, 6は回答なし

問5 <方法1による確定業務>

(問5-1において「2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器」、「3 不明」を選択した場合)

問5-1-3 調整・点検の項目・結果をご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

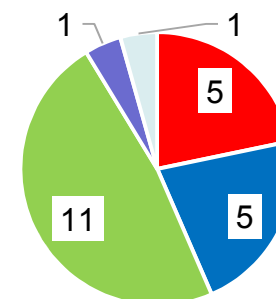
- ・外装の確認 零点・水平の確認 試貫 計量士により合格
- ・法令点検を実施し、結果は問題なし。
- ・トラックスケールの点検。誤差が大きい場合は校正を実施。
- ・自社では検量しておらず、複数の業者に委託している為不明の回答
- ・基礎部、ロードセル部、ジャンクソボックス部、衡橋

(問5において「4 計測の委託をせず、情報伝達のみ」、「5 その他・不明(具体的にご記入ください)」を選択した場合)

問5-2 重量情報の管理や確からしさをどのように担保されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 適切な計量器が使用されていることを情報の入手元(取引先)に確認している
- 2 情報の入手元(取引先)が「登録確定事業者」であることを要件としている
- 3 予め取引先の重量情報が正確であることについて、契約・取決め等に基づき担保している
- 4 特段実施していない
- 5 その他(具体的にご記入ください)



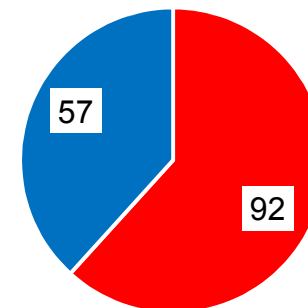
- 1 適切な計量器であることを確認する
- 2 登録確定事業者である
- 3 契約・取決めで担保する
- 4 実施していない
- 5 その他

問6 <方法1による確定業務>

問6 コンテナ総重量の許容誤差や使用する計量器の誤差範囲を把握されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 把握している
- 2 把握していない



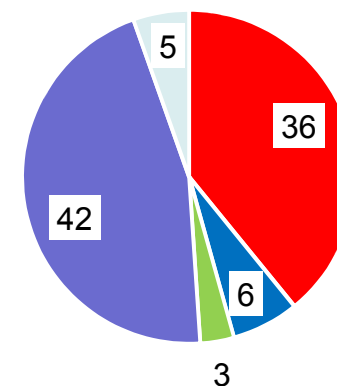
■ 1 把握している ■ 2 把握していない

(問6において「1 把握している」を選択した場合)

問6-1 把握している許容誤差等の数値を以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 1%未満
- 2 1%以上～2%未満
- 3 2%以上～3%未満
- 4 3%以上～5%以下
- 5 5%を超過



■ 1 1%未満 ■ 2 1%以上2%未満
 ■ 3 2%以上3%未満 ■ 4 3%以上5%以下
 ■ 5 5%超過

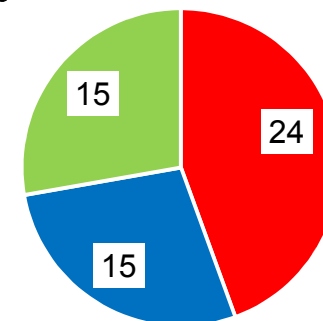
問6 <方法1による確定業務>

(問6において「2 把握していない」を選択した場合)

問6-2 把握していない理由について、以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 把握する手段・方法が分からない
- 2 把握する方法は分かるが、業務が煩雑等になるため実施していない
- 3 その他(具体的にご記入ください)



- 1 把握する手段・方法が分からない
- 2 把握する方法は分かるが、業務が煩雑等になるため実施していない
- 3 その他

問7、8 <方法2による確定業務>

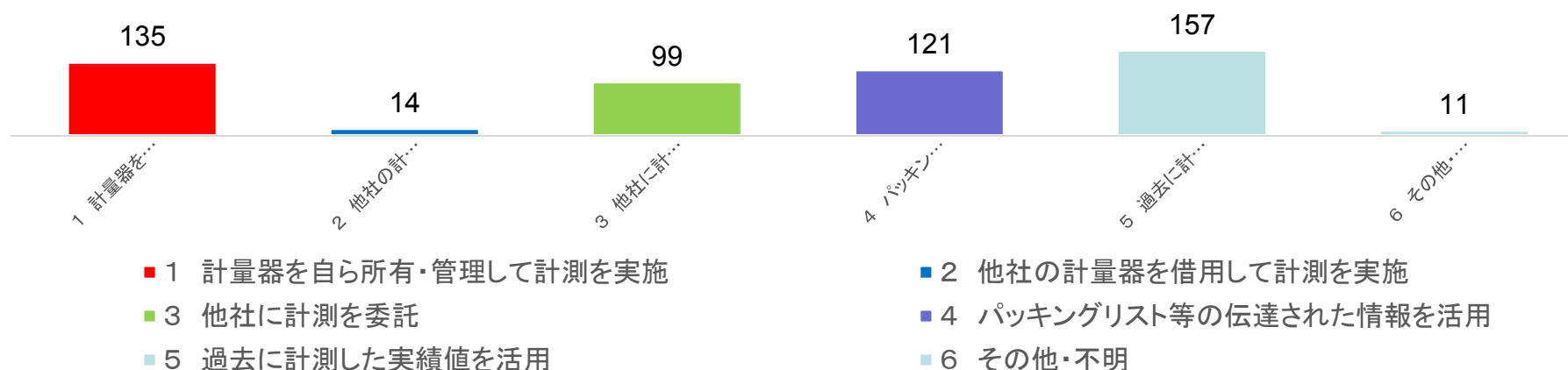
問7 貴社(所)において、平成28年7月1日～平成29年6月30日の期間に「方法2」により重量確定した輸出コンテナの本数及びTEU換算値をご記入ください。

※本数、TEUについては未記入や概数で回答された企業が多いため、正確性に欠くことから未公表とさせていただきます。

問8 どのようにしてコンテナ総重量の計測・算出を実施されていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 計量器を自ら所有・管理して計測を実施
- 2 他社の計量器を借用して計測を実施
- 3 他社に計測を委託
- 4 計測の委託をせず、パッキングリスト等の伝達された情報を活用
- 5 その都度の計測はせず、設計書、仕様書又は過去に計測した実績値がある貨物はその数値を適用する
- 6 その他・不明(具体的にご記入ください)



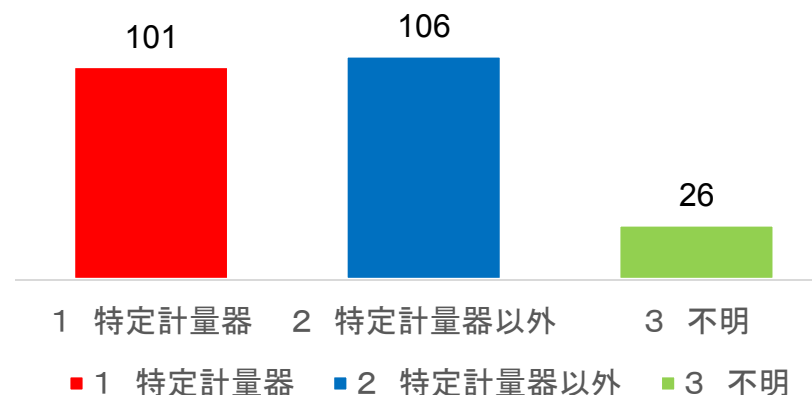
問8 <方法2による確定業務>

(問8において「1 計量器を自ら所有・管理して計測を実施」、「2 他社の計量器を借用して計測を実施」、「3 他社に計測を委託」を選択した場合)

問8-1 計量器はどのような種類を主に使用されていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 計量法の特定計量器(非自動はかり)
- 2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器
- 3 不明

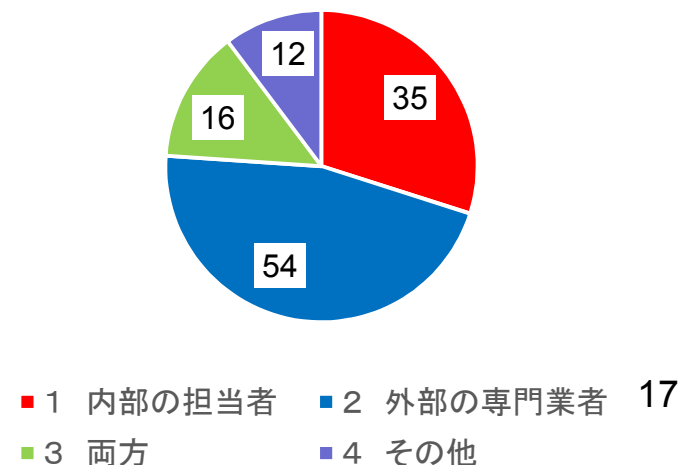


(問8-1において「2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器」、「3 不明」を選択した場合)

問8-1-1 どなたが計量器の調整・点検を実施されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 内部の担当者
- 2 外部の専門業者
- 3 両方
- 4 その他(具体的にご記入ください)



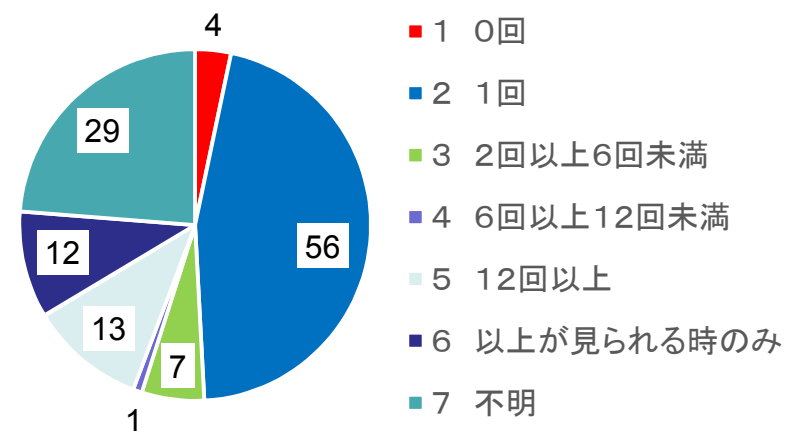
問8 <方法2による確定業務>

(問8-1において「2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器」、「3 不明」を選択した場合)

問8-1-2 年間あたりの調整・点検の頻度はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 0回 2 1回 3 2回以上～6回未満
 4 6回以上～12回未満 5 12回以上
 6 故障等異常が見られる時のみ実施 7 不明

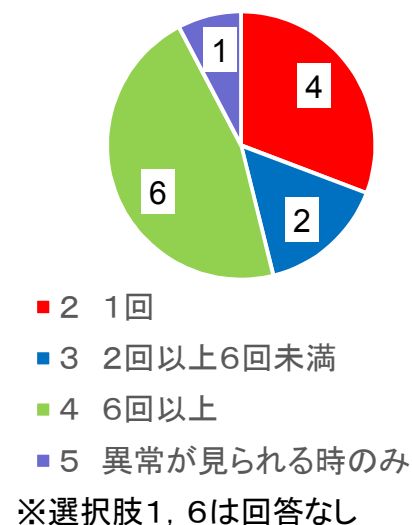


(問8-1-2において「5 12回以上」を選択した場合)

問8-1-2-1 月あたりの調整・点検の頻度はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 0回 2 1回 3 2回以上～6回未満(※1週間に1回程度)
 4 6回以上 5 故障等異常が見られる時のみ実施 6 不明



問8 <方法2による確定業務>

(問8-1において「2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器」、「3 不明」を選択した場合)

問8-1-3 調整・点検の項目・結果をご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

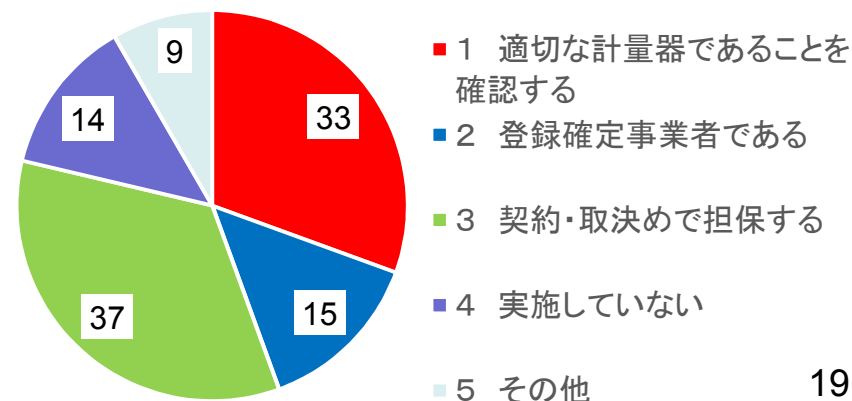
- ・始業時の点検として、零点の確認、水平設置、外観異常、定期検査超過有無(2年毎*)を実施。
- ・外部専門業者所有の分銅を用い調整・点検
- ・社内規定に基づき、各事業部で実施している。
- ・委託しているため不明
- ・2年に1度、メーカーに検定を実施して頂いています。

(問8において「4 計測の委託をせず、情報伝達のみ」、「6 その他・不明(具体的にご記入ください)」を選択した場合)

問8-2 重量情報の管理や確からしさをどのように担保されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 適切な計量器が使用されていることを情報の入手元(取引先)に確認している
- 2 情報の入手元(取引先)が「登録確定事業者」であることを要件としている
- 3 予め取引先の重量情報が正確であることについて、契約・取決め等に基づき担保している
- 4 特段実施していない
- 5 その他(具体的にご記入ください)



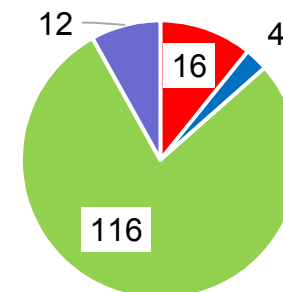
問8 <方法2による確定業務>

(問8において「5 その都度の計測はせず、設計書、仕様書又は過去に計測した実績値がある貨物はその数値を適用する」を選択した場合)

問8-3 重量情報の管理・点検を行っていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 一定期間ごとにチェックして重量情報を管理している
- 2 一定数生産した時点でチェックして重量情報を管理している
- 3 仕様変更等が無ければ、点検は実施していない
- 4 とくに重量情報の管理・点検は実施していない



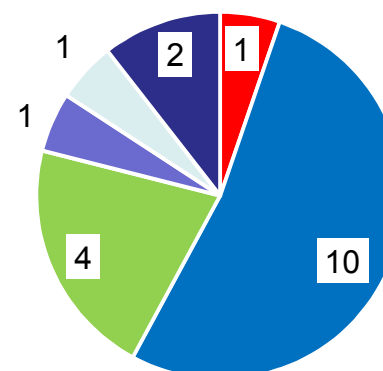
- 1 一定期間ごと
- 2 一定数生産した時点
- 3 仕様変更等ごと
- 4 実施していない

(問8-3において「1 一定期間ごとにチェックして重量情報を管理している」、「2 一定数生産した時点でチェックして重量情報を管理している」を選択した場合)

問8-3-1 年間あたりの調整・点検の頻度はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 0回
- 2 1回
- 3 2回以上～6回未満
- 4 6回以上～12回未満
- 5 12回以上
- 6 故障等異常が見られる時のみ実施
- 7 不明



- 1 0回
- 2 1回
- 3 2回以上6回未満
- 4 6回以上12回未満
- 5 12回以上
- 6 不明
- 7 不明

※選択肢6は回答なし

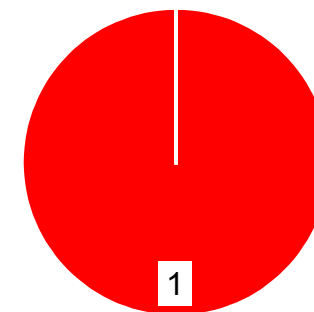
問8 <方法2による確定業務>

(問8-3-1において「5 12回以上」を選択した場合)

問8-3-2 月あたりの調整・点検の頻度はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 0回 2 1回 3 2回以上～6回未満(※1週間に1回程度)
 4 6回以上 5 故障等異常が見られる時のみ実施 6 不明



■ 4 6回以上

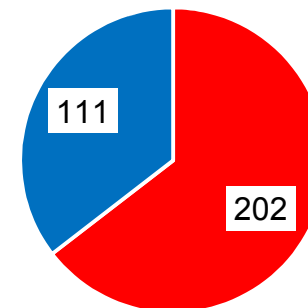
※選択肢1, 2, 3, 5, 6は回答なし

問9 <方法2による確定業務>

問9 コンテナ総重量の許容誤差や使用する計量器の誤差範囲を把握されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 把握している
- 2 把握していない



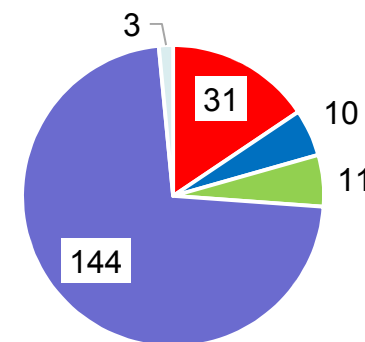
■ 1 把握している ■ 2 把握していない

(問9において「1 把握している」を選択した場合)

問9-1 把握している許容誤差等の数値を以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 1%未満
- 2 1%以上～2%未満
- 3 2%以上～3%未満
- 4 3%以上～5%以下
- 5 5%を超過



■ 1 1%未満 ■ 2 1%以上2%未満
 ■ 3 2%以上3%未満 ■ 4 3%以上5%以下
 ■ 5 5%超過

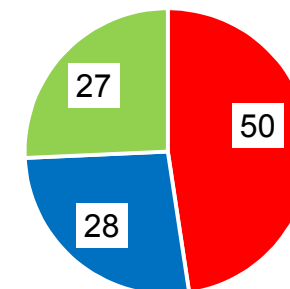
問9 <方法2による確定業務>

(問9において「2 把握していない」を選択した場合)

問9-2 把握していない理由について、以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 把握する手段・方法が分からない
- 2 把握する方法は分かるが、業務が煩雑等になるため実施していない
- 3 その他(具体的にご記入ください)



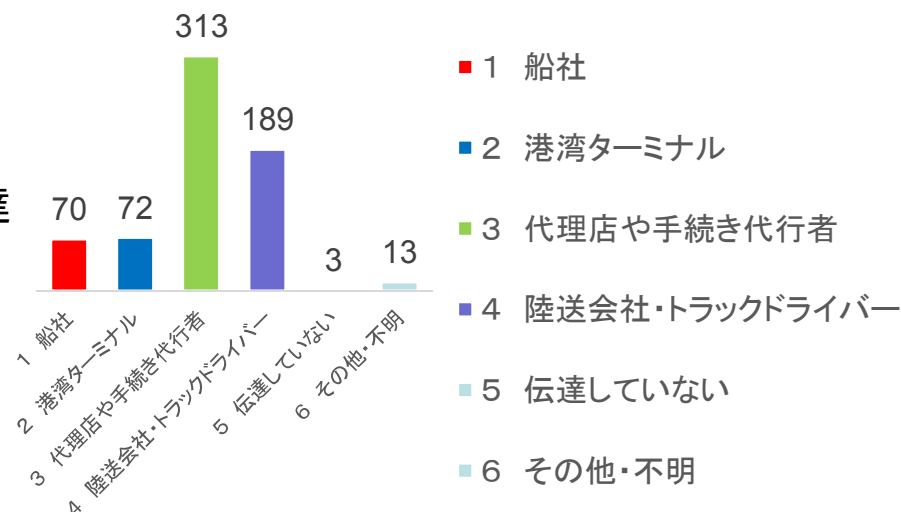
- 1 把握する手段・方法が分からない
- 2 把握する方法は分かるが、業務が煩雑等になるため実施していない
- 3 その他

問10 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

問10 貴社(所)から見て、コンテナ貨物の情報(確定した重量情報含む)は、通常誰に伝達されていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 コンテナを海上運送する船社に直接伝達
- 2 コンテナを海上運送する港湾ターミナルに直接伝達
- 3 代理店や手続き代行者などに委任
- 4 陸送会社・トラックドライバーなどコンテナを港湾に輸送する者に伝達
- 5 伝達していない
- 6 その他・不明(具体的にご記入ください)

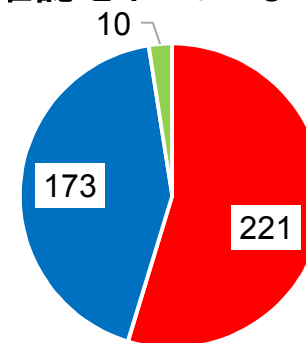


(問10において「2 コンテナを海上運送する港湾ターミナルに直接伝達」、「3 代理店や手続き代行者などに委任」、「4 陸送会社・トラックドライバーなどコンテナを港湾に輸送する者に伝達」を選択した場合)

問10-1 確実にコンテナ船社に当該情報が伝達されているかを確認されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 確認している
- 2 確認していない
- 3 確認したいが方法・手段が分からない



- 1 確認している
- 2 確認していない
- 3 方法・手段が分からない

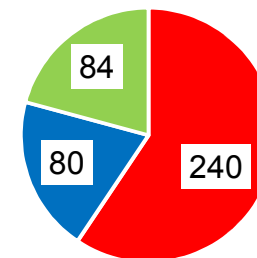
問10 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

(問10において「2 コンテナを海上運送する港湾ターミナルに直接伝達」、「3 代理店や手続代行者などに委任」、「4 陸送会社・トラックドライバーなどコンテナを港湾に輸送する者に伝達」、「5 伝達していない」、「6 その他・不明(具体的にご記入ください)」を選択した場合)

問10-2 船社に直接伝達することが将来的に求められるようになった場合に対応可能でしょうか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 可能と思われる
- 2 困難・不可能と思われる
- 3 不明



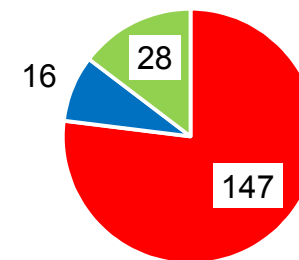
■ 1 可能 ■ 2 困難・不可能 ■ 3 不明

(問10において「4 陸送会社・トラックドライバーなどコンテナを港湾に輸送する者に伝達」、「5 伝達していない」、「6 その他・不明(具体的にご記入ください)」を選択した場合)

問10-3 コンテナを海上運送する港湾ターミナルや、代理店・手続代行者にコンテナ貨物情報を伝達することが求められた場合に対応可能でしょうか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 可能と思われる
- 2 困難・不可能と思われる
- 3 不明



■ 1 可能 ■ 2 困難・不可能 ■ 3 不明

問10 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

(問10-2、10-3において「2 困難・不可能と思われる」を選択した場合)
問10-4 そのように思われる理由をご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

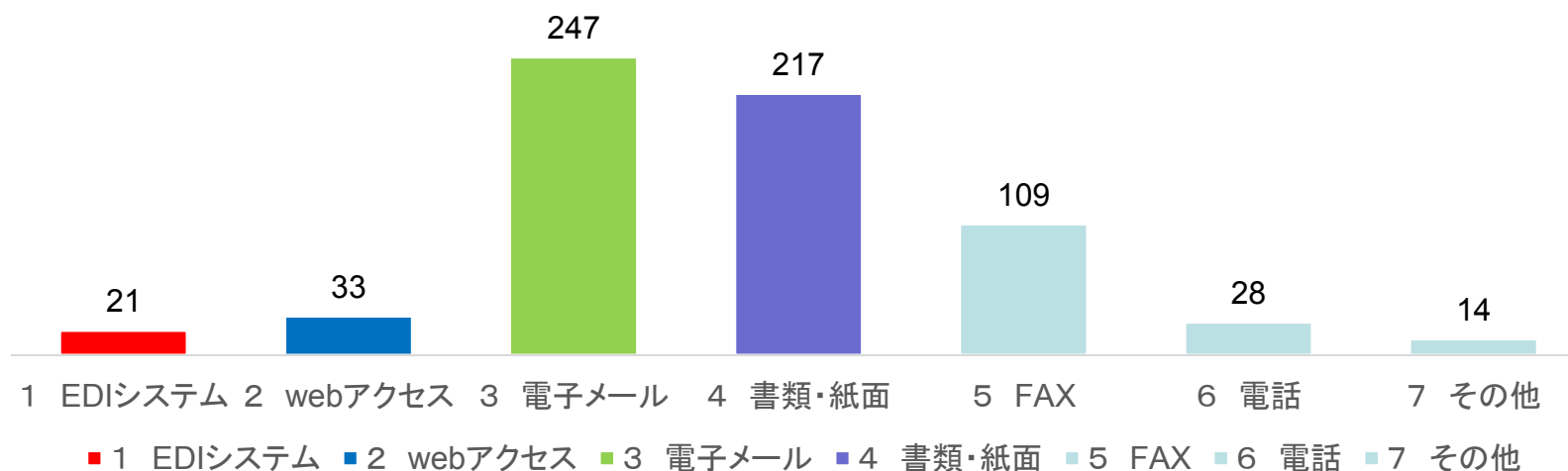
- ✓ バンニング後の倉庫荷役現場からの情報の吸い上げから、船社等への連絡の新たな運用構築や、その運用を踏まえたリードタイムの設定(増加)等、課題が多いと思われます。
- ✓ 当社では、Vanning作業者が、ターミナルにコンテナを搬入するドライバーに手渡す「コンテナ貨物搬入票」を用いて、確定したコンテナ総重量を船社に伝達することとしており、そのやり方が最も合理的であるから。(当社より直接船社に伝達するために要する手間を考えた時に現実的ではない。)
- ✓ 荷主側から船社側への重量情報の連絡は、現在もその業務ニーズに従い現場で授受されており、今後もそれは変わらない。それとは別途同じ情報を荷主から船社へ送付することとする場合、重複作業となること及び現場での情報伝達タイミングより遅くなることは明らかであり、業務効率上大きく非効率となる。
- ✓ VGMの確定がバンニング時のバンニング拠点であり、そこから複数の港湾ターミナルへタイムリーにかつ正確に情報伝達するのは時間的にも困難と思われるため。
- ✓ コンテナ詰作業は乙仲様に依頼をしている為、空コンテナ重量やラッシング材の重量は当社では把握できず、乙仲様からフォワーダー様、フォワーダー様から船社と伝わる仕組みとなつた為。
- ✓ 船社との直接コミュニケーションを行ったことが無い。
- ✓ NACCS(ナックス)のオンラインシステムがないから。

問11 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

問11 貴社(所)から見て、問10の伝達方法はどのようになっていますか。
(複数選択可)

<選択肢>

- 1 EDIシステムを構築して自動的に実施
- 2 webアクセスして入力
- 3 電子メール(ファイル添付含)にて送信
- 4 書類・紙面を提出
- 5 FAX
- 6 電話
- 7 その他(具体的にご記入ください)

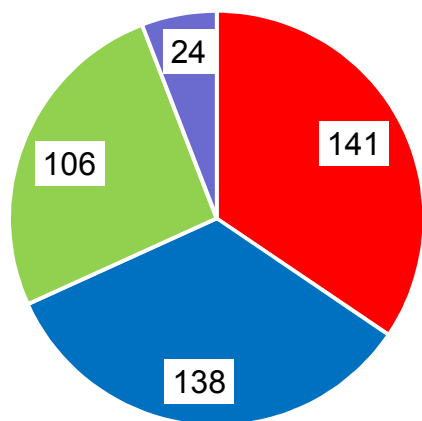


問11 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

問11-1 情報伝達の際に輸出コンテナを取り扱う船社又は港湾ターミナルに対するコンテナ総重量情報の提出期限(「VGMカット」)を認識・確認されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 各コンテナ船の「VGMカット」を認識・確認しており、各所へ適切に指示・伝達を行っている
- 2 「VGMカット」があることは認識しているが、各々のコンテナ船積みの詳細は現場担当に任せており、とくに確認していない
- 3 「VGMカット」が設定されていることを把握していない
- 4 その他(具体的にご記入ください)



- 1 「VGMカット」を意識しており、各所へ適切に指示・伝達を行っている
- 2 「VGMカット」があることを意識しているが、各々の各々のコンテナ船積みの詳細は現場担当に任せており、とくに確認していない
- 3 「VGMカット」が設定されていることを意識していない
- 4 その他

問11 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

(問11において「1 EDIシステムを構築して自動的に実施」、「2 webアクセスして入力」、「3 電子メール(ファイル添付含)にて送信」を選択した場合)

問11-2 フォーマットの項目をご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

- ✓ SHIPPER, 本船名, 積み地・揚げ地, コンテナ積み込み場所, コンテナ積み込み日
- ✓ フォワーダー名, CONTAINER NO., SEAL NO., M3,G.W., CONTAINER TARE
- ✓ TOTAL WEIGHT, 貨物詳細(代表品目と数量)

(問11において「1 EDIシステムを構築して自動的に実施」、「2 webアクセスして入力」、「3 電子メール(ファイル添付含)にて送信」を選択した場合)

問11-3 コンテナや貨物の重量情報以外に電子的に送信している情報をご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

- ✓ 通関書類
- ✓ ACL情報
- ✓ ブッキングNO, 船社, 本船名, コンテナ番号, シール番号, コンテナ種類, 貨物種類, 荷主名, 乙仲名, 向け先
- ✓ 製品名, Invoice no., 客先注文No., Lot No.
- ✓ 容器UN証明書等

問11 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

(問11において「4 書類・紙面を提出」、「5 FAX」、「6 電話」、「7 その他(具体的にご記入ください)」を選択した場合)

問11-4 電子的に伝達しない理由をご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

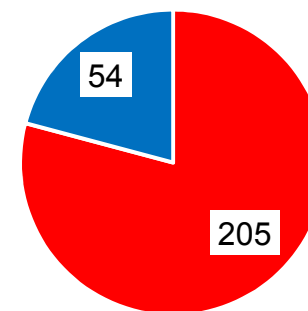
- ✓ 国内の対応としては、実情に合わせたコンテナ搬入票への記載、伝達が標準になっていると理解している為。(規制開始時の説明会にて国交省のご担当より伺った内容に沿って対応しております。)
- ✓ 設備が整っていない
- ✓ 船社代理店から書類・紙面での提出を求められるため。
- ✓ 電子的な伝達手段が一律に確立されておらず、従来のコンテナ搬入票で事足りるから。

(問11において「4 書類・紙面を提出」、「5 FAX」、「6 電話」、「7 その他(具体的にご記入ください)」を選択した場合)

問11-5 将来的に電子的な伝達を求められた場合に対応できますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 対応できる
- 2 困難である



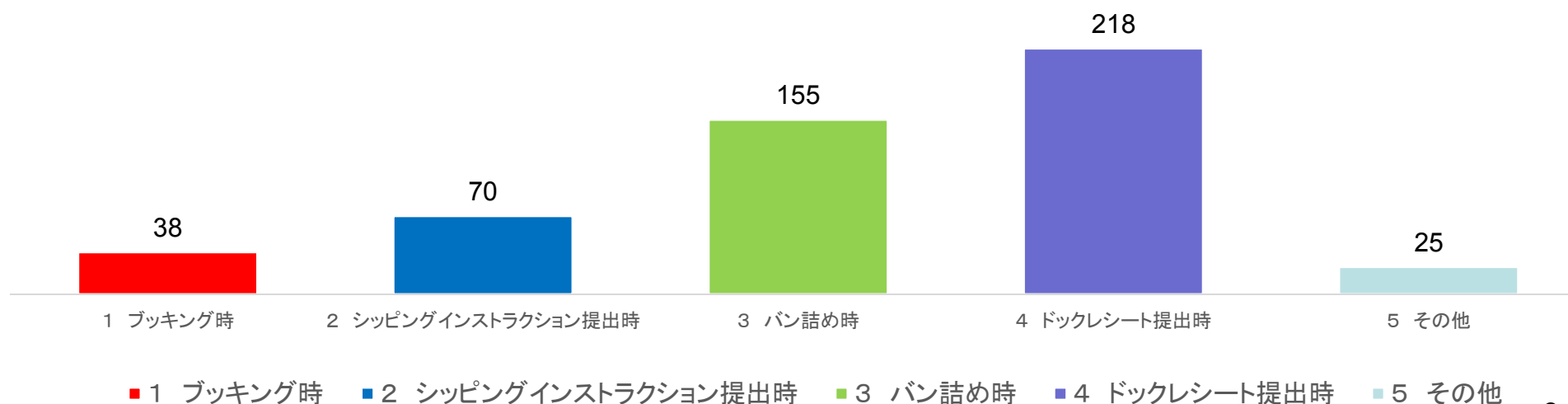
■ 1 対応できる ■ 2 困難

問11 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

問11-6 将来的に輸出コンテナを取り扱う船社又は港湾ターミナルに対して電子的な伝達を求められた場合に、どのタイミングで伝達するのが望ましいでしょうか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 船会社又は代理者等に対するブッキング(運送契約の予約)時
- 2 シッピングインストラクション(船積み依頼書、SI)提出時
- 3 輸出コンテナをバン詰めする時
- 4 ドックレシート(D/R)提出時
- 5 その他(具体的にご記入ください)

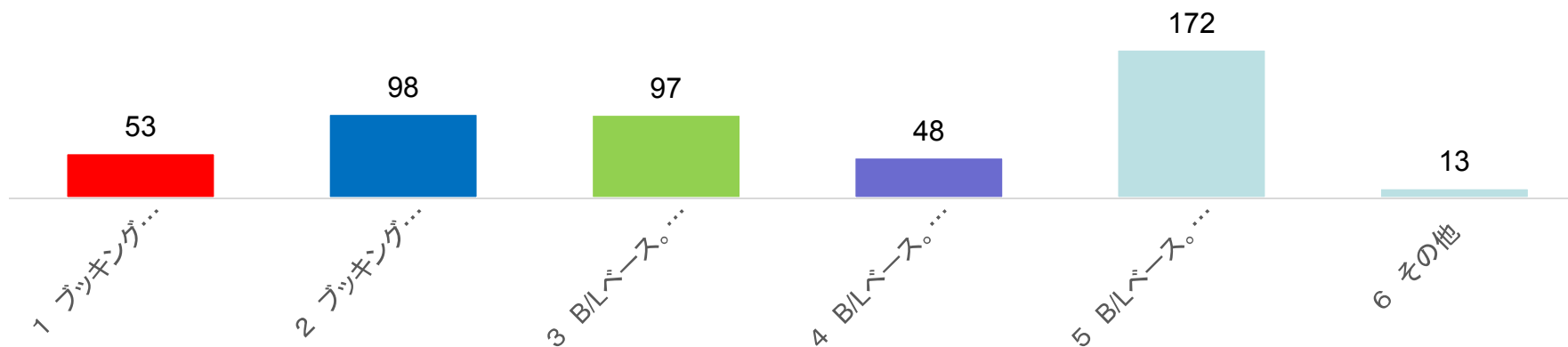


問11 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

問11-6-1 問11-6のタイミングで伝達する際、どのような重量情報の単位で伝達できますでしょうか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 ブッキングベース。但し、取扱う輸出コンテナ総重量の見込み値のみで構わない。
- 2 ブッキングベース。取扱う個々の輸出コンテナ総重量の確定値が望ましい。
- 3 B/L(船荷証券)ベース。但し、取扱う輸出貨物の総重量の合計値のみで構わない。
- 4 B/L(船荷証券)ベース。但し、取扱う輸出コンテナ総重量の合計値のみで構わない。
- 5 B/L(船荷証券)ベース。取扱う個々の輸出コンテナ総重量の確定値が望ましい。
- 6 その他(具体的にご記入ください)



- 1 ブッキングベース。但し、取扱う輸出コンテナ総重量の見込み値のみで構わない
- 2 ブッキングベース。取扱う個々の輸出コンテナ総重量の確定値が望ましい
- 3 B/Lベース。但し、取扱う輸出貨物の総重量の合計値のみで構わない
- 4 B/Lベース。但し、取扱う輸出コンテナ総重量の合計値のみで構わない
- 5 B/Lベース。取扱う個々の輸出コンテナ総重量の確定値が望ましい
- 6 その他

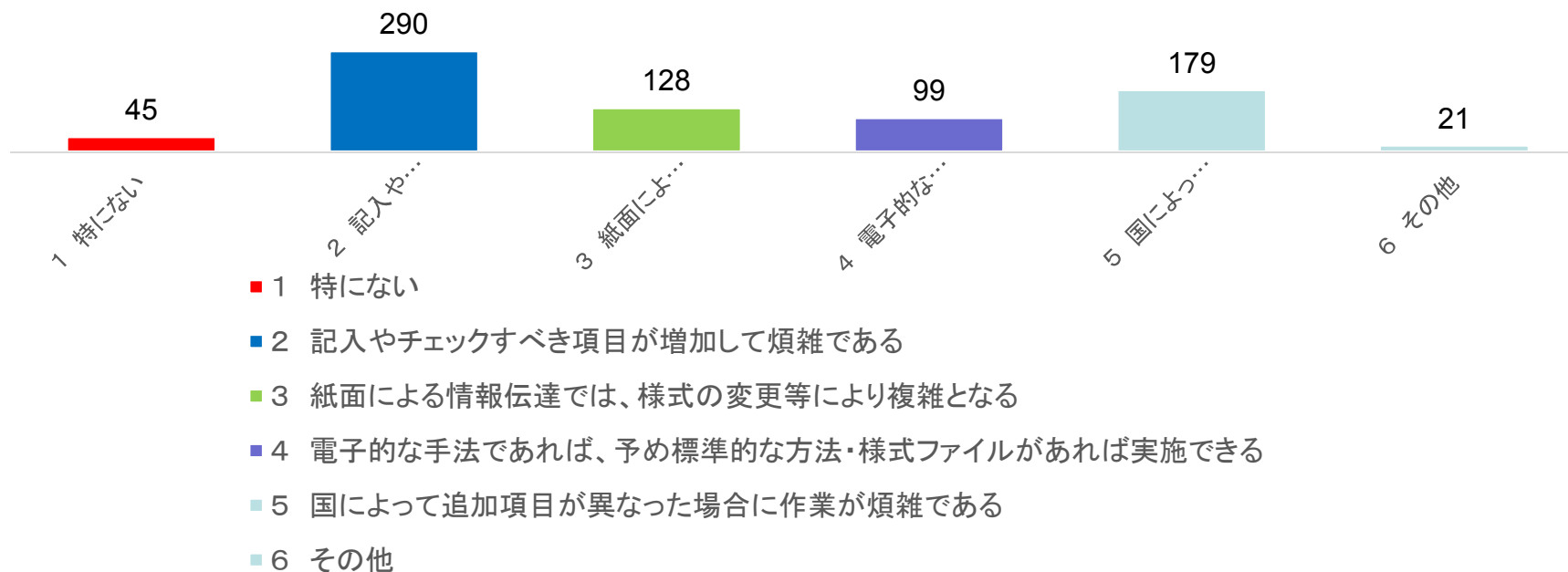
問12 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

問12 国際条約上は署名・重量のみが義務とされていますが、国内外の船社・港湾ターミナル関係者より、追加的な項目(例. 確定した日時・場所、方法1/2、責任者・担当者の連絡先、シリアルナンバー、等々)を要請されるとした場合、どのような課題がありますか。

(複数選択可)

<選択肢>

- 1 特にない
- 2 記入やチェックすべき項目が増加して煩雑である
- 3 紙面による情報伝達では、様式の変更等により複雑となる
- 4 電子的な手法であれば、予め標準的な方法・様式ファイルがあれば実施できる
- 5 国によって追加項目が異なった場合に作業が煩雑である
- 6 その他(具体的にご記入ください)



問13 コンテナの重量に関する社内・職員間の意識変化はございましたか。以下より選択し、お気づきの点をご記入ください。(自由記述)

<選択肢>

- 1 高くなった
- 2 特段変わっていない
- 3 分からない

<具体的な意見>

- 1 高くなった
 - ✓ 商品マスタに登録する際、製品重量の入力を強く意識するようになり、設計誤差などにも注意するようになった。
 - ✓ 国内外で道交法にもとづく規制が厳しくなっている。コンテナに搭載する荷物の総重量に関してより以上に過積載が無い様に注意している。
 - ✓ 正確な重量を把握することで、輸送する上での安心感が向上した。
- 2 特段変わっていない
 - ✓ 元々重量で売買をしており、コンテナ重量に対する意識は高いものと思っております。
 - ✓ 従来からの業務を法令に対応する形で規定化したが、従来から正しい情報提供を意識して業務を行っている。
 - ✓ SOLAS条約改正前後の作業で大きく変わっているところはないので、従前通りの荷役を行っている。

